

みずほCustomer Desk Report 2016/04/21 号(As of 2016/04/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.20 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.22	1.1358	124.03	0.9619	1.4387	0.7797
SYD-NY High	109.88	1.1388	124.33	0.9732	1.4412	0.7830
SYD-NY Low	108.77	1.1290	123.55	0.9603	1.4330	0.7767
NY 5:00 PM	109.85	1.1298	124.09	0.9723	1.4331	0.7795
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.555/11.025	△25RR	0.960	Yen Call Over		

NY DOW	18,096.27	42.67	債券市場	日本2年債	-0.2630	0.1bp
NASDAQ	4,948.13	7.80		日本10年債	-0.1330	▲1.0bp
S&P	2,102.40	1.60		米国2年債	0.7937	3.6bp
日経平均	16,906.54	32.10		米国5年債	1.3122	6.1bp
TOPIX	1,365.78	2.75		米国10年債	1.8450	6.0bp
シカゴ日経先物	17,280	215.00	為替市況	独10年債	0.1530	▲1.6bp
ロンドンFT	6,410.26	4.91		英10年債	1.4820	▲2.6bp
DAX	10,421.29	71.70		豪10年債	2.5260	▲3.0bp
ハンセン指数	21,236.31	▲199.90		USD/CNH	6.4817	0.0131
上海総合	2,972.58	▲70.24		ドルインデックス	94.49	0.52
USDJPY 3M Vol	10.64	▲0.05%	商品市況	CRB指数	181.436	3.51
USDJPY 6M Vol	10.49	▲0.04%		NY金	1,254.400	0.10
EURJPY 3M Vol	11.36	0.04%		WTI	44.180	1.71
EURJPY 6M Vol	11.11	0.08%		Dubai Spot	39.15	▲0.23

東京	東京時間オープン前に発表された本邦3月貿易収支は7,550億円の黒字(予想:8,346億円の黒字)と、若干市場予想を下回ったものの、マーケットの反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は109.22レベルでオープン。クウェートのスト終了の報道を受けて原油相場が下落する流れに、ドル円もじりじりと値を下げる展開。さらには過度な円安進行に否定的なコメントが目立つ共和党・トランプ候補がニューヨーク州の予備選挙で勝利したとのヘッドラインなどもドル円の上値を抑える一因となり、108.90近辺まで下落。その後は特段新規材料のない中、ドル円は108円台後半で方向感なく推移し、108.83レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
	ロンドン市場のドル円は108.83レベルでオープン。一部外銀の4月日銀緩和予想や、米格付会社が日本のツアリング格付けを据え置いたこと等を受け、リスク回避ムードが薄らぎ、堅調推移。109.26円まで上昇し、109.19レベルにてNYに渡った。ユーロドルは、1.1364レベルでオープン。独経済相が、ECBの政策の限界について言及したこと欧州金利が上昇し、ユーロドルも1.1380まで買われ、1.1378レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.4366レベルでオープン。英国立統計局(ONS)が公表した失業者数(2015年12月-16年2月)が2万1000人増と、15年5月-7月以来初めて増加したこと、1.4345まで下落。しかし英EU離脱国民投票を前に、今週発表された2つの世論調査で残留派が優位を示したこと等を背景に、ポンド買戻しムードが強く、直ぐに反転すると1.44台を回復。1.4408まで値を上げ、1.4379レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	クウェートでのスト終了の報を受け、原油相場が下落する動きに円買いが優勢となり、ドル円は一時108.77まで下押しするが、週末の熊本地震を受けたことが後押しになり、来週の日銀金融政策決定会合で日銀が行動するとの期待が一部で強まる中、ドル円は下値をサポートされ、109.19レベルでNYオープン。朝方は、金曜夕方から始まるユダヤ教の休日passoverを控えて買戻しが優勢となり、発表された米3月中古住宅販売件数が予想を上回ったものの、この結果を受けたドル円の反応が限定的となる中、109.42まで上昇。その後は109.50-60のレンジで意識され、109.20まで一時反落するが、「イラクが5月にロシアで産油国の会合を伝える」とのヘッドラインに原油相場が上昇する中、その後もドル買いの流れが継続し、株式市場が堅調に推移する動きを受けた円売りも加わり、109.88まで上昇する。終盤に掛けては、狭いレンジでの推移が続く。109.85レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.1378レベルでNYオープン。朝方は1.1388まで上昇する局面があったものの、徐々に対コモディティ通貨以外でのドル買いが持ち込まれ、1.1318まで下落する。その後は1.1330付近での推移が暫く続くが、再びドル買い優勢地帯となったことからユーロドルは1.1290まで一段と下落し、1.1298レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 岩田・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月20日	8:50	貿易収支	3月 ¥755.0B	¥834.6B
	17:30	ILO失業率	2月 5.1%	5.1%
	19:00	ドラギECB総裁挨拶	-	-
	20:00	MBA住宅ローン申請指数	-	1.3%
	23:00	中古住宅販売件数	3月 5.33M	5.28M

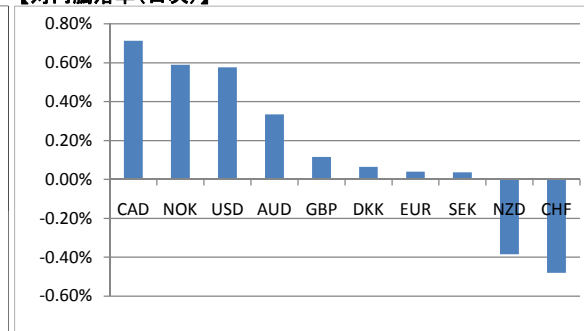
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月21日	8:50	対外・対内証券投資	-	-
	17:30	小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	3月 -0.3%/3.8%	-0.2%/4.1%
	20:45	ECB理事会政策金利発表	-	0.0%
	21:30	ドラギECB総裁会見	-	-
	21:30	フィラデルフィア連銀製造業指数	4月 9.0	12.4
	21:30	シカゴ連銀全米活動指数	3月 -0.15	-0.29
	21:30	新規失業保険申請件数	-	265K
	23:00	景気先行指数	3月 0.4%	0.1%
	23:00	消費者信頼感・速報値	4月 -9.3	-9.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1250-1.1350	123.50-124.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上昇。アジア時間の軟調な株式市場を背景とした上値の重い展開から一転。5月に主要産油国会合が再び開催されるといった観測等を受け原油が上昇し、米株上昇、米債下落にサポートされドルが全般に堅調に推移した。米経済指標は芳しくない結果が続いているものの、原油価格の落ち着きに加え、事前予想比良好な結果が続く米企業決算なども株式市場には追い風となり、目先は米金利上昇、ドル上昇が見込まれる。来週の本邦金融政策決定会合を前に海外勢のドル円買い等にもサポートされドル円は底堅い推移を予想する。今晚のECB理事会では大きな政策変更は予想されていない。